

2025 パロマカップ 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)三重県大会

大会要項

- 主 旨 日本を将来を担うユース年代の少年たちの、サッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加出来る大会として実施する。
- 主 催 一般社団法人三重県サッカー協会
- 主 管 三重県クラブユースサッカー連盟
- 特別協賛 株式会社パロマ
- 期 日 2025年4月29日(火)・5月3日(土)4日(日)5日(月)6日(火)/予選リーグ 5月10日(土)11日(日)17日(土)18日(日)24日(土)/決勝トーナメント
- 会 場 三重県内各地
- 出場資格 ① (公財)日本サッカー協会(以下、JFA)に第3種もしくは準加盟登録し、なお且つ日本クラブユースサッカー連盟に2025年4月10日までに加盟登録したクラブであること。
② 出場選手は、他のクラブチーム及び中学校サッカー部に二重登録されていない選手であること。
③ 2010(平成22)年4月2日以降の出生者を対象とする。
④ 出場チームは**15名以上**の選手でチーム構成され、うち7名以上は、JFA第3種加盟登録選手であり、なお且つ2010年4月2日から2013年4月1日までの出生者を対象とする。(必ず5名以上は試合に出場していること)
⑤ 出場チームの同一下部組織第4種(JFAクラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第4種登録選手のまま出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。
⑥ 各チームの登録選手は、JFA発行の写真付き選手証を持参すること。
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。(電子選手証可とする。)
⑦ 一つのチームで大会メンバー登録した選手は、異なるチームへ移籍後再び大会メンバー登録することができない。
- 参加申込 ① 4月10日までに大会参加申込を行う。また、4月25日必着で大会エントリー表を運営競技部副部長 野田宛にメールで送信し、**4月25日までに参加料5,000円を振込むこと。**
② 登録後のスタッフ及び選手登録の変更は認めない。(提出期限までは認める)
- 表 彰 **優勝以下、第3位までのチームに、賞状を授与し、優勝チームには、トロフィー(およびパロマカップ盾)を授与する。**
- そ の 他 ① 優勝以下、第4位までのチームには、6月14日から開催される日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会東海大会への出場権が与えられる。
② 書類提出期限等を厳守すること。
③ 会場利用に関して、注意事項を厳守すること。
④ ゴミ類は全て必ず各チームで持ち帰ること。
- 大会事務局 委員長 岩谷 俊輔(ヴィアティン三重U15) TEL:090-5855-8230 E-mail:shuniwa21@yahoo.co.jp
運営競技部 部長 福井健太郎(ヴェルデラッソ松阪) TEL:090-6577-7923 E-mail:verdelaco@yahoo.co.jp
運営競技部 副部長 野田麻祐子(三重サッカーアカデミー) TEL:090-1238-6770 E-mail:admin@miesocceracademy.com **※エントリー表提出先**

大会規程

■競技方法

- ① **参加25チーム**のうち、2024三重県クラブユース連盟U-14選手権(以下、U-14選手権)による結果から、21チームをA～Fまでの6ブロックに分け予選リーグを行い、各グループの上位2チームとシード4チームの計16チームが決勝トーナメントに進出する。(シードチーム ①FC GRANRIO SUZUKA ②ヴィアティン三重 ③三重サッカーアカデミー ④FC.Avenidasol)
- ② ルールは、JFA発行「サッカー競技規則2024/25」による。
- ③ 試合時間は予選リーグを60分とし、決勝トーナメントを70分とする(インターバル10分以内)。予選リーグにおいては競技時間以内に勝敗が決定しない場合は、引き分けとする。但し、決勝トーナメント1回戦においては勝敗が決定しない場合は10分間の休憩後PK戦により勝敗を決定する。準々決勝以降においては3分間の休憩後10分間の延長戦を行い、なお決定しない場合はPK戦により勝敗を決定する。
- ④ 予選リーグの順位決定は以下のとおりとする。
 1. 勝点は、勝利=3点 引分=1点 敗戦=0点とし、勝点の多い方を上位とする。
 2. 勝点と同じ場合は得失点差の多い方を上位とする。
 3. 得失点差が同じ場合は得点の多い方を上位とする。
 4. 3.で得点も同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引き分けの場合は抽選とする。
(予備抽選・本抽選を行う。予備抽選は予選リーグ星取表上段が先に引く。)
- ⑤ 決勝トーナメント進出チーム
 - A) 3位決定戦を行い、優勝以下第4位までを決定する。
イ) 悪天候による延期等で、全試合消化できない場合は抽選にて順位を決定する。(予備抽選・本抽選を行う。予備抽選は決勝トーナメント対戦表左側が先に引く。)
- ⑥ 懲罰
 - A) 本大会は、JFAが定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
 - イ) 前項の再委任の範囲は、戒告、けん責及び2試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
 - ウ) 大会規律委員会の委員長は3種規律フェアプレー部長とし、委員については委員長が決定する。
 - エ) 大会規律委員会の議事は出席者の過半数を持って決定する。
 - オ) 大会期間中に警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。但し、2回目の累積については2試合に出場できない。
 - カ) 本大会において退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
 - キ) 予選リーグで受けた警告は、決勝トーナメントへ持ち越さず、累積しない。但し、予選リーグで警告の累積が2回となり、予選リーグ中に出場停止の消化ができない場合のみ、決勝トーナメントへ持ち越しとする。
 - ク) 今大会期間中に受けた退場処分が期間中に消化されない場合は、当該東海大会に持ち越され適用される。東海大会不出場の場合は、次に開催される(一社)三重県サッカー協会主催大会に出場することができない。
- ⑧ 登録及び選手交代
 - A) エントリー表に、選手15名以上25名以内(背番号・ポジション・学年必ず記載)、監督1名、スタッフ9名以内を記載して大会事務局へ提出する。
 - イ) 予め規定のメンバー表に記載された選手の中から先発11名に○、控え9名に△を記載し、ベンチ入りしない選手を抹消線で消し提出する。又当日ベンチ入りするスタッフ5名以内の当日ベンチ入欄には、1～5の数字を記載して提出する。
 - ウ) 試合毎の登録は交代選手を含め20名迄とし、うち5名迄の交代を認める。延長戦に入った場合は1名交代選手の追加を認める。但し、PK戦での適用は認めない。
 - エ) 試合毎の登録後、試合開始までの間に、怪我など特別な理由により登録された先発メンバーが当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することが出来る。なお、当該選手の、当該試合への出場は認められない。(原則ピッチ外に出でらう)
 - オ) メンバー表は試合開始60分前までに会場本部へ2部提出すること。(マッチミーティングがある場合はその際に提出。)
 - カ) 外国人、女子に制限を設けない。
- ⑨ 選手交代回数の制限
 - A) 試合中の選手交代回数は3回迄とする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - イ) ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、交代回数に含まれない。
 - ウ) 試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越すことができる。(延長戦における交代は、交代回数に含まれない。)

- ⑩ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
- ア) 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
 - イ) 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - ウ) 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - エ) 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - オ) 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする
- ⑪ 暑熱対策について JAF「熱中症ガイドライン」に則して、「飲水タイム」「Cooling break」を設けるものとする。
- ⑫ 試合球 公認5号球とし、各チームが持ち寄ること。但し、準々決勝以降は、大会本部にて準備する。
- ⑬ ユニフォーム
- ア) JFAのユニフォーム規程及び競技規則に基づいたユニフォーム(本大会に登録した)を使用しなければならない。
 - イ) 正副2枚を用意(GK含)、ユニフォームの前面、背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付け、胸にチームのマークが付いていること。アンダーシャツの袖については、シャツ又はシャツの袖と同色の物に限り、同時に同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。アンダーシャツ及びタイツは、シャツの主たる色、又はシャツの裾の部分と同色のものに限り、同時に同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
 - ウ) ユニフォームの色(シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない)及び選手番号は、大会エントリー以降の変更を認めない。
 - エ) ショーツに番号が付いている場合シャツと必ず一致すること。
 - オ) その他「広告」等詳細は、JFA「ユニフォーム規程」に則する。
 - カ) ユニフォーム色は試合開始60分前までに、当該チームで相談の上、決定する。決定後、エントリー表提出時にユニフォーム色に○を付けて提出する。但し、審判員が判別しにくいと判断した場合は、ユニフォーム色の変更を命じることができる。
 - キ) GKが控え選手を含め退場等の理由により試合続行不可能となった場合のフィールド選手によるGK出場の折の背番号については、GKのユニフォームを着用することによる不一致が発生しても良いこととする。
 - ク) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスと同じものに限る。
 - ケ) 各チームに、アームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。アームバンドは単色のものとする。「キャプテン」という単語やその翻訳された単語・文字、もしくは「C」という文字、またはメーカーロゴを入れることができるが、単色でなければならない。
- ⑭ 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について(JFAサッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針を基本に)
- 当該試合が前半が終了していれば試合成立とする。前半が終了していない状況での中断の場合は、原則として試合再開を検討する。試合再開は中断時から試合を再開し、選手は中断時の選手とする。なお、フルタイム試合が不可能または再開不可能な場合は次のとおりとする。
1. 原則として試合再開を検討する。できる限り試合をできるようにするが、開始時点で中途半端な試合時間になることがわかっている場合は行わない。但し、試合成立(前半終了)まで、試合を行える場合は、前半終了まで試合を行う。(後半は行わない。)
 2. フルタイム行う場合の中断時間は、最大30分までとする。但し、次の試合以上に影響が出る場合は短くなる場合もある。
 3. 試合成立となる前半を行う時間を確保する場合の中断時間は、最大45分までとする。但し、次の試合以上に影響が出る場合は短くなる場合もある。
 4. 試合再開ができない場合は、前半途中の場合であっても、予選リーグでは、中止時点でのスコアを勝敗とする。決勝トーナメントでは、中止時点でのスコアを勝敗とする。なお、同点の場合はPK戦を行う。なお、PK戦も不可能な場合は抽選とする。
- ⑮ 審判
- ア) 予選リーグにおいては、主審は3級以上の有資格者によって行い、副審は選手でも可とする。
 - イ) 決勝トーナメント進出チームについては、割当てられた試合を、3級以上の有資格者によって担当する。
 - ウ) 敗退したチームについては、決勝トーナメントで割当てられた試合を3級以上の有資格者によって担当する。
- ⑯ その他
- ア) 選手証は決勝トーナメント1回戦の会場でのみ提出すること。(その他の試合でも必ず携帯すること。)
 - イ) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会にて決定する。
 - ウ) チームベンチへの入場(ウォーミングアップ含)は、事前に登録されたスタッフ5名及び選手のみとする。
 - エ) チームベンチは、試合会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチを【競技日程】の左側に記載されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
 - オ) チームの責任において全員が傷害保険に加入していること。
 - カ) 大会にて疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみ行うが、それ以降はチームにて処置すること。
 - キ) 試合は雨天決行とする。暴風警報発令の場合は第1試合の3時間前に決定することを原則とし、各チームに通知する。
 - ク) 大会期間中、割当てられた審判を確実に実施すること。
 - ケ) 大会要項等に記載されていない事項については、三重県クラブユースサッカー連盟(U-15)役員会において協議し決定する。
 - コ) 組合せは、2025年4月13日に開催される代表者会議時に抽選にて決定。